総力戦とは何か（国民・植民地・産業を動員した戦争）

第一次世界大戦は、それまでの戦争と何が違い、戦後の社会をどう変えたか

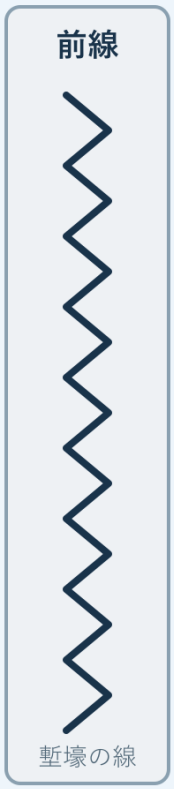
それまでの多くの戦争　おもに軍隊どうしが戦い、期間や地域は比較的限られる（一般的な傾向）

第一次世界大戦　**国民・植民地・産業を動員する総力戦となり、大規模で長く続く**

国内と植民地から、前線へ（動員）

動員

1. **産業**
   兵器や物資を大量に生産する。
   女性も工場などで働く
2. **植民地**
   植民地から兵士や働き手が
   送られる
3. **お金と物資**
   国債で戦費を集め、
   食料などを配給する
4. **宣伝**
   新聞やポスターで、
   国民に協力を呼びかける
5. **科学技術**
   新しい兵器の開発に
   使われる



塹壕が長く続き、
戦いが長引く。
多数の死傷者が
出る

戦争の影響が、
国民だけでなく
植民地の人々にも
及ぶ

戦後

戦後に残したもの

A 女性の地位の向上　1から
女性の選挙権が広がる国があった
例：イギリス 1918年（一部の女性）
アメリカ合衆国 1920年

B 社会・福祉政策　1〜4から
国民の生活を支える政策が
各国で進む

C 民族自決への期待　2から
植民地の人々の間で、
自立を求める運動が
活発になる

D 国際協調のしくみ　前線から
大戦の惨禍への反省から、
集団安全保障の考えに基づく
国際連盟がつくられる

総力戦は、戦後の大衆化を促した

※ 模式図。前線の線は塹壕を表す記号。Aの国と年は例。